

49 イエスの視線は想定できる

—聖マタイの召命—

2023

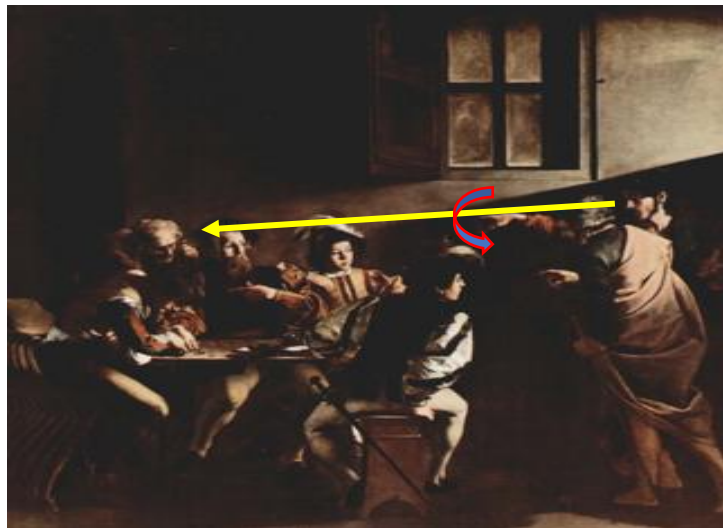
真鍋友範

2013年に小生がネット上で発表した《眼鏡の聖マタイ》の中で述べた内容であるが、再度取り上げたい。

1 イエスの視線は想定できるのか？

カラヴァッジョの描いた《聖マタイの召命》を、穴が開くほど画集を覗き込んだとしても。イエスの視線は不鮮明だ。

しかし、一般的な人の身体動作の普遍的特徴から類推することは可能だ。では、やってみよう。



イエスの右腕と右手は、目指す相手の顔あたりで止まる。
つまり、イエスの目と、手の甲を結ぶ線上に目指す相手がいる。

その方法は、実験だ。

イエスと同様に、特定の目標を定め、相手に向かって、腕を回し、向こう側の

人を呼ぶポーズをとってみよう。

何度も同様な動作実験すると、ある特徴が判明する。

【回した手の止まる位置は、大抵は誰が行っても、対象相手の顔になる】という事実だ。

これには、理由がある。相手の顔を見なければ、回した手を止められないから、必ず相手の顔を見ながら、ピタリと相手の顔あたりで止めるのだ。

つまり、この法則によると、【目と手の甲を結ぶ線上に相手の顔がある】ことになる。

イエスの眼とイエスの回した手の甲を結ぶ線上にある顔が、聖マタイの顔なのだ。

【仮に、誤差の可能性を考慮しても、絶対に俯いた若者を示す兆候はない。】
これは実験上の結果でもあり、確かだ。